Rohwer Federated Christian Church
WEEKLY BULLETIN №118
Feb.15.1945　McGehee, Ark.

朗和基督教會週報

第百十八號
二月十五日

發行責任　白石清
毎週木曜日發行

◎今週の標語

「汝等を存ふ者は眞實なれば、之を成し給ふべし」
（テサロニケ前五ノ廿四）

◎聖日禮拜順序

二月十八日　午後二時、教會堂
司會　白石牧師

奏樂
頌榮（五六六）
招拜及主禱
讃美歌（五四）
聖書拜讀（テサロニケ前五ノ十六―廿八）
祈禱
讃美歌（八五）
說教　秦牧師
「樂天的人生」
祈禱
讃美歌（四四一）
獻金
報告
頌榮（五六八）
祝禱

◎青年部諸集會

○禮拜―十八日朝十時十五分、教會堂
司會、坂上牧師
說教　ギャロット師
○青年集會―十八日夜七三〇
●C.Y.F.　司會者、渡辺正道
「如何に聖書を用ふべきか」
ギャロット師
●Y.P.C.F.
司會者、ミスD、サヨンス
（S.S.第二校々長）
○青年聖歌隊練習―毎週火曜
午后七時、教會、

○日曜學校（十八日）午前九時
全七校
○學課―神の國の宝
○本文―マタイ[illegible]
○金言―ヤコブ、二ノ十七

◎諸集會案内、

○讃美會―毎木曜夜七時半教會、
○婦人會親睦會―二月十六日(金)
午後七時より教會堂にて
○傳道說教會―十八日(日)夜七時半
・西會館、司會者、
說教、平原中枝
「神々を嫌ふ心」
・北會場、司會者、三上兄、
說教　白石牧師
「平和の生涯」（ヨハネ十四ノ廿七）
○婦人靈交會―廿日(火)午后二時半
西會館（[illegible]）司會者、河西夫人、
○聖書研究會―廿日、午後七時半
・秦牧師―九ノ五―F、
・柿原牧師―教會事務所
○祈禱會―廿一日(水)午後七時半
教會堂―指導獎勵　秦牧師
・同青年部（午后七時）
東會館、坂上牧師
Sr.事務所　ミス ウオリヤムス、

◎慰藉の使者、

白石清

基督者は「神よ、救し給へ、憐み給へ、助け給へ」といつも泣言ばかり言つてゐるから嫌ひだといふ人がある。未信者の立場から眺めたら左様見へるであらう。尤な事である。我らも時々さう思ふのだ。基督者は罪赦されたりとの喜悦に溢れたる者でなければならぬ。然るに年から年中憔悴枯色晴れない顔して居るべき筈ではない。固より辛い事ハ誰の身にも辛い。基督者なるが故に悲しい事實がないわけではない。此節の様な戰時下に在りて、我に悩みなし―といひ得る人はあるまい。否、誰も彼も負ひ切れない苦難に喘いでゐる。今こそ世界は眞に慰安を要する時である。基督者こそ其使命を感じて起たねばならぬ。然るに彼自身平家蟹見た様にブツブツ泣言小言を言ふてゐるやうではならぬ。夫には先立たれ、杖柱と頼む息子等は戰地に送られ、その一人は既に戰死し、家は貧しく、自身健康勝れず、浮世の悩みを一身に引受けた様な境遇に置かれてゐながら、難みを知らざる者の如く朗かに、己れを忘れて他人を慰めてゐるといふ婦人がある。眞に救はれた人である。痩我慢ではない。斯る人こそ眞に人を慰め得る人、今の世に無くてはならぬ人物である。

由來基督教會が餘りに十字架のみを力說し過たために、俗耳には、基督教とりへば十字架の宗教、苦難の宗教、悲哀の宗教とのみ解せられ、其処に何等の法悅もアトラクションも感ぜしめず、却て息詰る様な緊張と、窮屈さと、悲哀とのみの如き誤解を與へて居るのではないか。あれでは福音ではない。天來の慰安と喜悅がなければ福音ではない。

一歩前に進んでゐなければ他を導く事は出來ない。苦難の問題も己まづ解決してゐなければ他を慰ることは出來ない。主基督は十字架に先立ち「是等のことを世に在りて語りたるは我が喜悅の汝らに在り、且つ汝らの喜悅の滿されん爲なり」（ヨハネ十七ノ十三）と宣ふた。我らは即ちその喜悅の滿された者でなければならぬ。而して斯る喜悅の人として初めて世間に對して慰藉の使者たる事が出來る。オヽ主よ我等を遣し給へ。

教會消息 （二月九日－十五日）

○故東江清之助氏追悼会－八日午后七時秦牧師宅にて営まる。十五名出席。

○讃美会－八日夜族会にて、十八名。

○故川又夫人追悼会－十日(土)夜七時半教会にて営まる。出席者五十一名。

○結婚式－十日夜、井上君と平田様は秦牧師司式の下に結婚せらる。出席者八十五名。

○ミス フィーチ送別パーティー－十日(土)午後七時半より西会館にて此度帰郷せらる同姉のためにS.S.教師会にてパーティを催した。同姉は両年S.S.オ三校の校長として助力せらる。来会者十七名。

○日曜諸集会（十一日）

イ、日曜学校－ギャロット総主事御用外出中にて、出席者数報告未着。

ロ、青年礼拝－朝十時十五分より坂上牧師自ら司会し「戦線への力」と題して説教せらる。出席者一九五

ハ、大人礼拝－午後二時、佐々木牧師の司会にて、白石牧師ペテロ前五ノ八より「時代の挑戦」と題し説教。百廿三名。

ニ、伝道会－同夜七時半より東会館にて八丁野兄司会、佐々木牧師「聖霊の力によりて」と題し説教、廿二名。北会場は矢倉兄司会。柳原牧師「価なき賜物」につき説教、十七名。

ホ、青年集会－同夜教会にてYPCFはリンコルンの事につき浜野、寺田両君の感想あり。CYFの方は金子演治氏がお話せられた。出席者合計廿名

ヘ、洗礼式－望月新一郎君、朝礼拝後秦牧師の司式にて行はる。

○牧師会－十二日午前八時半より秦牧師宅にて催さる。記録報告、集会報告、庶務報告の後協議会に入り、集会部署の決定、一、証言会の可否、祈祷会の折が適当。二、受難週のプログラム如何。

○宗教家聯盟例会－十二日牧師会に引続き同所にて催さる。早島氏は外出中、河内氏は御病気にて不参、宮崎開教師御夫妻出席さる。当方ギャロット氏外出中下副所長エルトン氏、社会部主任パンダサドフ女史来会せられ、転住問題に関し説明あり自由なる質疑応答ありて甚だ有益であつた。正午散会。渡米待感謝、

○婦人会支会－十三日(火)午後二時半平原夫人宅にて、同姉司会の下に催さる。

○聖書研究会－十三日(火)夜七時半

イ、秦牧師宅にて同師の行伝講義。

ロ、柳原牧師は事務所にて催さる。

○祈祷会－十四日(水)午後七時半より教会堂にて白石牧師の指導援助の下に催さる。吾吉夫人、澁岐、丁野、平上、富山の諸兄姉の証詞があり一同熱心に祈つて九時散会。

○婦人お仕事会－十日(土)午後二時より教会事務所にて催された。

御礼

○献金者芳名

教会へ、

小村新子様　週報へ、

田村S.様　週報へ、

白石牧師夫人　誕生日献金

中道宅市様　感謝献金

井上ミノエ様　感謝献金

・日曜学校へ、

峰本元巳様・　誕生日記念

峰本南加る様　誕生日献金

ミセス タウカー様（ミシシッピー）

・青年部へ、

斉藤オルダー様（ミシガン）　月次献金

藤田広様　受洗感謝

岡村江乃様　令孫誕生日感謝

石丸あさ様（シカゴ）　週報へ

・婦人会へ、

石丸とき様

以上の通り、夫々へ御献金下されしことを感謝いたします。

二月十五日　各部会計係

◇予告!!!

青年大会、　主催 当地YMCA

○講師　YMCAの世界的指導者　シャウワード エデー博士

〃　デモイン レヂスター（英字紙）　細川ビル氏

〃　クリスチャン教会巡回教師（インデアナポリス）　杉園ゼームス氏、

○尚ほ沿岸(西部)地方事情につき杉園氏を依頼して講演及び質問会を開く様交渉中

◎婦人会便り

婦人会にて此度各区の委員を左の如くお願い致しました。

第二区－吉田姉　池添姉

〃三－永見姉、加納姉

〃四－木村姉、押水姉

〃五－上野姉、佐藤姉

〃六－薮姉　倉富姉

〃七－大友姉　松下姉

〃八－蓮花姉、

〃九－島川姉、立反姉

〃十－佐々木姉

〃十一－遠藤姉　大槻姉

〃十二－斉藤姉、

〃十四－菊地姉、

〃十六－高橋姉、古賀姉

〃十七－田川姉、

〃十九－松原姉、

〃二十－宮城姉、

〃二十三－望月姉、

〃二十四－佐藤姉、

〃二十五－水上姉、

〃二十六－河西姉、

〃二十七－五島姉

〃二十八－宮崎姉、

〃二十九－鳥井姉、

〃三十二－谷津姉、

〃三十三－三本木姉

〃三十四－山口姉、

〃三十八－広瀬姉、

〃三十九－山崎姉、

〃四十－脇本姉、

先日発行の当教会信徒名簿第三号中には掲載漏れを致しました方々を追補致します。之を切抜いて原簿に貼つて下さい。

姓	名	住所	教会原籍
藤原	幸雄	1=1CD	Bap't.(ガーデナ)
安広	家治	2-7	Bap't.(ガーデナ)
木村	頌嘆	4-7C	Holi.
同	なみ	〃 〃	〃
押水	ゆき	4=5E	東京九段(メソ)
薮	夫人	6=10E	RFCC.
松下	しづゑ	7=7C	Chrtn.(L.A.)
久我	まつ	14=8A	Chrtn.(L.A.)
佐野	ミツル	20=6A	RFCC.
松田	ちとせ	23=7C	Assby.(スタクトン)
西方	清蔵	26=3E	Presby(長老)
新宮	浪子	28=5F	RFCC.